

第5学年 社会科学習指導路案

教科等	社会科	単元名	情報をつくり、伝える	本時	全7時間扱いの1時間目
学級	5年3組	授業者		教室等	3階 5年3組教室

<本時の指導>

<本時のねらい>	
メディアのよさやわたしたちとの関係について考え、表現することができる。	
	<p>主な学習活動【4つの視点】 主な発問:T 予想される児童の反応:C</p> <p>1. おもなメディアの特徴について確認する。 T:各メディアの特徴にはどんなものがありましたか。 C:文字で伝えるものや映像で伝えるものがある。 C:インターネットが使えれば、すぐに新しい情報が分かる。 C:それぞれにいいところがある。</p> <p>2. メディアの活用状況についての調査結果とメディアの信頼度についての調査結果(教科書より)の比較から、本時のめあてを設定する。 T:2つの調査結果を比べて、気付いたことや疑問に思ったことはありますか。 C:どの年代でもインターネットや雑誌は信頼度が低い。 C:年齢が上がると新聞の信頼度が高くなっている。 C:新聞の信頼度が高いのはどうしてだろう。</p> <p>新聞の信頼度が高い理由を考えよう。</p>
	<p>○研究主題にせまる6つの手立て</p> <p>□…指導上の留意点 ☆…評価 ※UD</p> <p>□「メディア」の意味、おもな特徴を振り返る。 ※スパイラル化</p> <p>□どのメディアにもよさがあることをおさえる。</p> <p>□事前にアンケートを取り、グラフ化して掲示する。 ※視覚化</p> <p>□メディアによって活用状況に差があることに気付かせる。</p> <p>○話題設定の工夫 資料を比べる中で映像の分かりやすさに触れる。その一方で新聞が最も信頼されているという意外性から話題を設定する。</p> <p>○意図的にグルーピングされた小集団での交流活動の設定 事前アンケートの結果を基にメディアの活用経験や社会科の学習の定着状況を基にグルーピングした3人組で話し合わせる。</p> <p>○交流の目的と視点の明確化 友達と協力して資料の情報を読んで考えていくことで、「自分自身の予想を広げたり深めたりすること」を目的とする。意見交流をする際には、「資料のどこからそのことが考えられるのか」と「互いの考えを聞いて、それらをつなげたり、広げたりしていくこと」を視点とする。</p>
展開	<p>4. 新聞の信頼度が高い理由について話し合う。【対話】 T:なぜ新聞の信頼度が一番高いのか予想してみましょう。 C:記事の内容が詳しく書かれているからかな。 C:詳しく書くために、たくさんの情報を集めているんじゃないかな。 C:一人では作れなさそうだから、多くの人が関わっていいそうだね。</p>
終末	<p>5. 学習の振り返りを書く。【表現】</p> <p>□自分の生活と結び付けて振り返るよう促す。 ☆メディアのよさやわたしたちとの関係について考え、表現している。(記述)</p>

【板書計画】

1/30 情報をつくり、伝える

メディア：情報を伝える方法や手段

新聞

テレビ

ざっし

インターネット

ラジオ

どのメディアにもよさがある！

◎新聞の信頼度が高い理由を考えよう。

◎新聞の信頼度が高いのどうして？

- ・記事の内容が詳しく書かれているから？
- ・たくさんの情報を集めているから？
- ・多くの人が関わっているから？
- ・ずっと残るものだから？
- ・自分たちで取材をしていてインターネットよりも間違いが少ないから？

ともだちのかんがえをうけとめよう。

うんうん、たしかに、なるほど、そうだね

くわしく知りたいことをしつもんしよう。

それってどういふこと？

もともとわかってるよ

かんがえをつけたして、ひろげよう。

いもあろよね。

はてどうかな？

【研究主題にせまる6つの手立てとの関連】

(1) 「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て

話題設定の工夫

本学級の児童のメディア利用状況を事前にアンケートし、結果を提示することで、学習内容を自分の生活に結び付けて考えられるようにする。さらに、教科書の資料を用いて新聞が最も信頼されていることを示す。新聞は児童にとって日常的に利用することが少ないメディアであるため、その意外性に気付かせ、驚きや疑問をもたせる。これにより、「なぜ新聞が信頼されているのだろう」という予想や関心が生まれ、主体的に学習に取り組む姿を引き出すことができると考えた。

話し合いの話型の提示

「なぜ新聞の信頼度が一番高いのか」について話し合う際には、予想の段階であることから、「友達の考えを受け止めよう」「くわしく知りたいことを質問しよう」「考えをつけたして広げよう」の話型を提示し、活発な交流活動を促す。

(2) 「学び合う」ための手立て

意図的にグルーピングされた小集団での交流活動の設定

事前アンケートの結果を基にメディアの活用経験が似ていることや、社会科の学習の定着状況を基にグルーピングした3人での話し合い場面を設定する。

交流の目的と視点の明確化

友達と協力して資料の情報を読んで考えていくことで、「自分自身の予想を広げたり深めたりすること」を目的とする。意見交流をする際には、「資料のどこからそのことが考えられるのか」と「互いの考えを聞いて、それらをつなげたり、広げたりしていくこと」を視点とする。